

日点委通信

No. 15

1999年11月 1日発行

日本点字委員会 総会報告

日本点字委員会は、1999年5月22日・23日の両日、横浜市都筑区の障害者研修保養センター「横浜あゆみ荘」において、第35回総会を開催し次の事項を協議した。

1 点字数学・理科記号暫定改訂についての追加提案

点字科学記号専門委員会から、①空集合記号の変更、②日本語文中の数式の前後のマスあけについて、③理科の専門用語の切れ続き、の3点について追加提案があり、提案どおり承認された。

2 古文および漢文の点字表記について

『日本の点字 第24号』に基づいて、原田早苗事務局員から「古文の点字表記」、塩谷治委員から「漢文の点字表記」についての提案があり、協議の結果承認された。

3 『日本点字表記法 2001年版』の編集・発行について

木塚泰弘委員から「『日本点字表記法 2001年版』の編集・発行について」の提案があり、同書の編集・発行およびそのための編集委員会の設置が承認された。編集に当たって「検討すべき課題」として協議された事項は、後に掲げる「『日本点字表記法 2001年版』の編集に当たっての検討事項」のとおりである。なお、編集委員として、阿佐博、植村信也、加藤俊和、金子昭、木塚泰弘、小林一弘、塩谷治、当山啓、直居鉄、疋田泰男、藤野克己、水谷吉文、宮村健二、渡辺昭一の14名を決定した。古文の検討の際には原田早苗、窪田和代が専門委員としてこれに加わる。

4 点字表記法に関わるその他の協議

渡辺昭一委員から「自立語内部の切れ続きに関する許容の幅について」（近畿点字研究会）、宮村健二委員から「医学用語の点字表記に関する検討(2)——語頭に2拍以下の成分がある複合名詞の切れ続き——」、小野祥一郎委員および加藤三保子氏から「中点の扱いについて」（東北地域委員会）の各発表があり、それぞれ協議した。

『日本点字表記法 2001年版』の編集に当たっての検討事項

『日本点字表記法 2001年版』の編集に当たっては、『日本点字表記法 1990年版』（以下『90年版』と略称）の構成を組み替えたり、日本点字委員会の総会で検討してきた事柄を付け加えたりするといった比較的限定的な改訂にとどめることにしている。また、この機会に、以前からの懸案事項や日本点字委員会以外から問題提起されている事項についても併せて検討し編集に生かすことにしている。それらの具体的な内容は次のとおりである。

1. 古文並びに漢文の点字表記をまとめて一つの章として起こす。『90年版』の第2章第2節の「古語の仮名遣い」および第3章第1節の「古文の分かち書き」は、この章に含める。

2. 『90年版』の第2編「参考資料」のうちのIV「付加記号とその用法」は、第1編の各章に分散して組み込む。予定している挿入箇所は次のとおりである。

(1) 『90年版』で「限定的に用いる」としていた10種の特殊音点字を第1章第2節の4「特殊音（外来音など）」に含める。この10種の特殊音点字の用法については、第2章第2節に項を起こして説明する。

(2) 伏せ文字と数字の伏せ文字とを第1章第4節の3「関係符号」に移す。伏せ文字の用法については、第4章第3節の5.に追加して説明する。

(3) パーセント、アンドマーク、ナンバーマーク、アステリスクについては、第1章第4節「表記符号の構成」に「マーク類」の項を起こして移す。マーク類の用法については、第4章「文の構成と表記符号の用法」に節を起こして説明する。

(4) 発音記号符、第1ストレス符、第2ストレス符については、第1章第3節「数字とアルファベットの構成」に項を起こして移す。これらの用法については、第2章第3節13.の外国語引用符の後に追加して説明する。

(5) 行末のつなぎ符については、第2編「参考資料」の略記法の項に移す。

3. 点字化に当たってのルビの扱いを整理する。

4. 外文字と外国語引用符の使用範囲を検討する。

5. 『90年版』の第3章第2節「自立語内部の切れ続き」の1.～7.については、これまでの検討結果を踏まえて理論的に検討し、できるだけ例外の少ないすっきりした規則になるよう検討する。

(1) 「自立可能な意味の成分」の「語の構成要素」の範囲と、「拍数」がひとり歩

きしないための説明などを明確にする。

(2) 動植物名などの専門用語について、意味の理解を容易にするため、2拍以下の成分を含めて「自立可能な意味の成分」の範囲を明確にする。

(3) 連用接続の場合、特に後ろが補助動詞である場合などの切れ続きを明確にする。

(4) 「する」が独立の動詞である場合はもとよりのこと、複合動詞であると思われるものについても「自立語内部の切れ続き」の原則と関連して、単純明解な規則になるよう検討する。

(5) 「複合動詞では3拍以上の自立可能な意味の成分が二つ以上あればその境目で切り、2拍以下の意味の成分はそのどちらかに続けることを原則とする」という規則と「複合名詞の成分が2拍以下であっても、独立性が強く意味の理解を助ける場合は区切って書き表す」という規則とに関連して、「自立可能な意味の成分」と「マス数」との関係の意味の理解を容易にするという立場で検討する。

(6) 地名などの固有名詞の語頭の成分で、方向などを表し、対になっている2拍と3拍の成分の切れ続きをすっきりとした規則になるよう検討する。

6. 数式や理科記号が一般の文章中に入る場合の表記については、「暫定改訂案」に沿って検討する。

7. 『90年版』の中で、規則の表現や用例が適切でないものについて検討する。また、関連する事項については、それぞれのところで追加の説明を加える。その場合、書き下ろしのためだけではなく、点字化のことにも配慮した取り扱いを検討する。

『試験問題の点字表記』（1999年4月15日発行）の主な内容

点字試験問題の一般的な表記の仕方、各種形式別の試験問題の書き方と解答の仕方、国語・英語・社会・数学・理科といった教科別の入学試験問題の例示、学内試験や英語検定試験、司法試験などの具体例等を収録しています。

次の3冊子が今年度中に刊行になる予定です

2002年以後に予定されている中学校・高等学校用の点字教科書に採用される「暫定改訂案」を盛り込んだ『点字数学記号解説暫定改訂版』『点字理科記号解説暫定改訂版』および『日本点字表記法 2001年版』の主な改訂事項と「動植物名の点字表記」などを内容とする『日本の点字 第25号』が刊行されます。

頒 布 図 書 案 内

注文先・日本点字図書館用具事業課（本体に消費税がかかります）

- | | | |
|---------------------|-------|------------------|
| 1. 『日本点字表記法 1990年版』 | （墨字版） | 1000円（発送手数料300円） |
| 2. 『点字数学記号解説』 | （墨字版） | 600円（発送手数料300円） |
| 3. 『点字理科記号解説』 | （墨字版） | 改訂中 |
| 4. 『日本の点字100年の歩み』 | （墨字版） | 500円（発送手数料200円） |
| 5. 『試験問題の点字表記』 | （墨字版） | 800円（発送手数料300円） |

（郵便振替 00150 - 8 - 44522）

注文先・日本点字図書館点字製作課（消費税はかかりません）

- | | | |
|---------------------|-------|-------------|
| 1. 『日本点字表記法 1990年版』 | （点字版） | 6000円（送料無料） |
| 2. 『試験問題の点字表記』 | （点字版） | 4000円（送料無料） |

（郵便振替 00190 - 9 - 750672）

注文先・日本点字委員会事務局

- | | （点 字 版） | （墨 字 版） |
|-------------------------------------|--------------------------|--------------|
| 1. 『点字数学記号解説』 | 1200円（送料無料） | |
| 『点字数学記号解説別冊』 | 3800円（送料無料） | |
| 2. 『点字理科記号解説』 | 1200円（送料無料） | |
| 3. 『日本の点字100年の歩み』 | 700円（送料無料） | |
| 4. 『統一英語点字コード研究プロジェクト文書コードの拡張・最終報告』 | 3000円（送料無料） | 750円（送料240円） |
| 5. 『日本の点字 第9号』 | 300円（送料無料） | 300円（送料180円） |
| 6. 『日本の点字 第11号』 | 400円（送料無料） | 400円（送料180円） |
| 7. 『日本の点字 第12号』 | 400円（送料無料） | 400円（送料180円） |
| 8. 『日本の点字 第13号』 | 500円（送料無料） | 500円（送料180円） |
| 9. 『日本の点字 第16号』 | 500円（送料無料） | 500円（送料180円） |
| 10. 『日本の点字 第17号』 | 600円（送料無料） | 600円（送料180円） |
| 11. 『日本の点字 第18号』 | 500円（送料無料） | 500円（送料180円） |
| 12. 『日本の点字 第19号』 | 500円（送料無料） | 500円（送料180円） |
| 13. 『日本の点字 第20号』 | 500円（送料無料） | 500円（送料180円） |
| 14. 『日本の点字 第21号』 | 500円（送料無料） | 500円（送料180円） |
| 15. 『日本の点字 第22号』 | 600円（送料無料） | 600円（送料180円） |
| 16. 『日本の点字 第23号』 | 500円（送料無料） | 500円（送料180円） |
| | （『意味』と『拍』「点字のサイズと手触り」他） | |
| 17. 『日本の点字 第24号』 | 600円（送料無料） | 600円（送料180円） |
| | （「点字数学・理科記号の暫定改訂案について」他） | |

墨字版の送料は冊数が多くなれば割安になりますのでお問い合わせください。

〒169 - 8586 東京都新宿区高田馬場1丁目23番4号 電話 03 (3209) 0671
日本点字図書館内 **日本点字委員会事務局** （郵便振替 00100 - 1 - 42820）